

01・深夜の自室で、あまあま授乳プレイしながら触手ベロでクンニされてガチイキ

〈シチュエーション〉

主人公とうたの現在の関係と、作中の設定を説明するエピソード。

9月3週目、深夜2時ごろ。主人公の自宅、自室。

うたは数時間前、何百キロも先にある、淫魔の研究をしている研究所から帰ってきた。一週間ほど学校を休んで、検査を受けていたのである。

前日夜に検査を終えたうたは、泊まらずにそのまま飛んで、大急ぎで主人公の所へやってきた。

だが、主人公はすっかり眠っていた。なので添い寝して寝顔を見ているうちに、自分も眠ってしまい、しばらくして目覚めるところからスタート。

SE1 外の環境音

【最初から途中まで流す】

【最初からやや小さめの音量で流す】

【外の音が、開けた窓から聞こえる】

【0—10秒ほど流してSE2】

【その後、ごく小さな音量で流してフェードアウトする。季節が夏なのを表現するだけなので、繰り返さない】

SE2 うたがベッドの上で起き上がる音

【最初から最後まで流す】

【左右反転して流す】

● 【左】 15センチ

■ 仰向けで眠る主人公の、左耳側に添い寝して眠っている

※ 一行ごとに少し間があく感じで※ 話す

「【寝ぼけく起きる。静かめ、ゆっくりめに】

んう……。

んう……っ……。

んんう……う」

SE3 うたがベッドの上で起き上がる音

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

●【左】 30センチ 上50センチ へ移動

■起き上がって伸びをする

「静かだが気持ちよさそうに」

はあく……っ♡

〈主人公〉

「んっ……」

SE4 うたが主人公に近づく音

「最初から最後まで流す」

「次の『うた』のセリフと同時に流す」

■主人公の目覚めに気づいて

「ゆっくりと、嬉しそうに」

あく……♡ 起きたあ……♡

おはよ♡

SE5 うたが主人公に近づく音2

【最初から最後まで流す】

【近づいてくる】

● 【正面】 0センチ へ移動

【唇にキス】

ちゅっ ♡

【顔のランダムな場所に、ばらばらにキス】

ちゅ ♡ ちゅ ♡ ちゅ ♡ ちゅっ ♡

起きるの待ってたよ？ ♡

【右頬にキス】

ちゅ ♡

おはよ ♡

【言ってから『今は深夜だ』と気づいて】

……あ。おはようじゃなかった。

『こんばんは』だ ♡

【唇にキス】

ちゅ ♡

〈主人公〉

「んっ……あれ……？ えっ……？ 本当は、今何時……？」

「【上機嫌で】

はは♡ 寝ぼけてる♡

今は夜。

※少し時計を確認する間があった感じで※ 話す

二時四十分♡

……ただいま。帰って来たよ♡」

〈主人公〉

「……おかえりなさい……♡

あれ？ でも、うちちゃんも寝てたよね……？ いつ帰って来たの？」

「……あ。へへ♡

そお。私も寝てた♡

着いたのは二時位かな。

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく】

窓開けといってくれてありがとね♥

二時位にここ来て。ずっと君の寝顔見てたの。

そしたらさ♥ いつの間にかうとうとしてたっぽい♥

【唇にキス】

ちゅ♥

【特にものすごくあまあまに】

……大好きだよ。

ちゅーしよ?♥

【※1まで、セリフ交じりにキス。

とにかく甘くて優しい、幸せでラブラブなキス】

んっふ……あんむ……ちゅ♥

ちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅくっ♥

はあ……一週間ぶりのキス幸せ過ぎ……♥

美味しい……ちゅ♥

はあああっ……ちゅ♥

ずっとしたかったあ……ちゅ♥

ちゅっく……♥ れえろ……くちゅっ♥

ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡くちゅう♡※1
大好き……」

SE6 うたが主人公に近づく音3

【最初から最後まで流す】

「【意味は『舌を出して、長く伸ばして』】

……ベロ、れっってしてえ？♡

【※2まで、セリフ交じりにデイープキス。

だんだんねっとり、えっちな雰囲気になる】

ん……ちゅ♡ちゅっぶ……れる♡

れえろ、れえろ。れえろ、れえろ♡れるる……れるっ♡

んふ……ちゅぶっ♡

ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡

あ……♡大好き……♡

もう、ずっとしてられるう……ちゅ♡※2

大好き。愛してる♡

すき。好き好き好き好きっ♡

【唇にキス】

ちゅ♡

【特にものすごくあまあまに】

ねえ。ベロとベロ全部くつつけるやつしよ？♡

【※3まで、濃厚なデープキス。

主人公の性欲を煽っていく】

んっ……♡ れええ……ちゅ♡

んっ……♡ ちゅ♡

れるれる、れるれる、れるれる、ちゅるうっ♡

れるっふ……びちゅっ♡

れえろ、れえろ、れえろ、れえろ……ちゅるっ♡

……はあ。ほんと大好き……♡」

※3

〈主人公〉

「私も大好き……♡ ずっと待ってた。ずっと会いたかったよ？♡ うたちちゃん♡」

【満足げに上機嫌で】

ふふふふふ♡

えー、ほんと？ 嬉しい……♡

私も超好き。超淋しかった。

一週間、長すぎたよね……♡

【セリフの途中から唇にキス】

はああ……ほんと会いたかった……ちゅ♡

大好きだよ？♡

【唇にキス。2回とも】

ちゅ♡ 愛してる。ちゅうつ♡

だーい好き。ふふふふっ♡」

〈主人公〉

「ふふ♡ それで、あの……どうだった？ 検査は？」

■内心『あつ、その話かあ……』と思っている。あまり話したくない

「【上機嫌のままを装いつつ、ちよっと歯切れが悪くなる】

……あ。検査結果？

※一呼吸あけてから※ 話す

うん、大体去年と同じ。

結構頑張ったし、色々やってもらったんだけどね？

薬はちよつと、減らせなかった。

もうすぐ『目覚めの日』だからさ？

『力が強まってる分、例年以上に気をつけて行きましょう』だってさ」

〈主人公〉

「そっか……」

「『量』は『薬の量』を指す」

ほんとだね。

『今年こそ量減らせたらなあ』って思ってたんだけど。

※少し間をあけてから※ 話す

まあ、しょうがないよね。

■『クイーン級』とは、サキュバスのランク。現状の実質最上位だが、もう一つ上があるクイーン級って滅多に居ないからさ。向こうも心配みたい。

■なんとか明るい話題を提供したくて、薬の色やデザインが華やかな件について述べる

「『あ、でもね』を一息に」

あでもね。

配慮してくれてるのかなあ。薬、やたら可愛い。
ちよつと待っててね」

SE7 うたが鞆をあさる音

【最初から最後まで流す】

【少しだけ離れて聞こえる。ベッドから手が届く範囲に鞆があるイメージ】

SE8 うたが紙袋を取り出す音

【最初から最後まで流す】

【ごく小さめの音量で流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

●【正面】 30センチ へ移動

■鞆をあさって薬を取り出し、目の前に出して見せながら話す。

主人公の不安を取り除きたくて、意識してテンションを高くする

※少し間をあけてから※ 話す

【テンション高めに】

ほらこれ。色やばくない？ ♡

キラキラしてて魔法薬（まほうやく）みたい。
だから、むしろテンション上がってるよ」

SE9 うたが主人公に近づく音3

【最初から最後まで流す】

●【左】 0センチ へ移動

■寝そべっている主人公に耳打ちする

「【とても優しく、囁くように】

これが暴走を抑えて守ってくれるからね。安心して」

〈主人公〉

「……ねえ……うたちゃん。『減らせなかった』って事はさ。赤い薬も、去年と同じ量なの？」

●【正面】 30センチ へ移動

■一度耳元まで近づくが、主人公が『赤い薬』について聞きたがるので、また離れる

「【気まずそうに、困ったように】

……あー。

『いざという時用』の、赤い薬も、ある。

確かに去年と同じだけあるけど。

でも、今年も全部使うとは限らないから。気にしないでいいよ♥」

〈主人公〉

「……」

●【正面】 0センチ へ移動

■心配そうな主人公の顔を覗き込んで

「【とても優しい声で明るく】

ん？ そんな顔しないの♥

薬は全部。『無理やり持たされた』とかじゃなくて。

私が望んで。『下さい』って言ってもらったお薬なんだからね？

お医者さんもね、改良したって言ってたし。

心配しなくて大丈夫だから。

ね？♥」

●【左】 0センチ へ移動

■本音半分、話をそらしたい気持ち半分で、少し強引に話題を変える

「とても優しく、囁くように」

……ねえ。そんな事よりさ。もつとぎゅーしていい？ ♡

●【正面】 0センチ へ移動

■再び布団に入る。それから、正面から優しく主人公を見つめて

「優しく、ちよつと甘えた感じで」

年一（ねんいち）とはいえさ。

一週間、えっちどころか連絡もできないの、辛すぎたよ。

研究所居る時もさあ。

■『数値』は『検査結果の値』の事

ずっ、っと君の事考えてたの。数値に出過ぎててやばかった ♡

……その位、早く会いたかったんだよ？ ♡

【唇にキス】

ちゅ ♡

大好きだよ……愛してる……。

【左耳に3回キス。ゆっくりめに】

ちゅっ♡ちゅ♡ちゅっ♡

ふふふふ♡」

●【正面】 0センチ へ移動

■再び主人公の顔を覗き込んで

「嬉しそうに、ちよっといたずらっぽく」

……あれ？♡早速想像した？♡

■密着した身体から、心臓の鼓動を聞き取って

心臓の音やばいよ？ あはっ♡

【※4まで、話しながら時折唇への軽いキスを交える。

『主人公の事が、愛おしくて仕方ない』という感じで】

……可愛いなあ……♡

もう何千回もえっちしてるのにさ。ずっ、とドキドキしてくれるよね……♡
そういうの、ほんと嬉しい。

ありがとう♡

ちゅ♡

検査してる時もね？

■『主人公の気持ちの流れ込んでくる』というのは、うたのサキユバスとしての能力。セックスを幾度となく繰り返して、主人公と肉体的、精神的に深い繋がりを持った証。凄く離れたところに居るのに、君の気持ち、ずくっと流れ込んで来てて。

『こんなに私に会いたいって思ってくれてるんだあ』って、幸せだった……♡
だから何とか我慢できたんだよ？♡

ちゅ♡

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

優しくひそひそと、主人公をドキドキさせる気で】

大好きだよ。帰って来れて嬉しさやばい……♡

【とても優しく、ちよつと甘えた感じで。『したい』 〓 『セックスしたい』】

ねえ。眠い？

眠くないなら……したい♡

ちゅ♡ ※4

※一呼吸おいてから※ 話す

【ダメ押しのように甘く】

しよ？♡「

〈主人公〉

「あっ……♡ うん♡ するっ……したい♡」

SE11 うたが主人公に覆いかぶさる音

【最初から最後まで流す】

【0―5秒ほどまで流して、次の『うた』のセリフと重ねる】

【小さめの音量で流す】

●【正面】 30センチ 上15センチ へ移動

■主人公に覆いかぶさって

「うっとりと幸せそうに」

はあああ……♡

やっとなにに触（さわ）れる……♡」

●【正面】 0センチ へ移動

「【※5まで、甘くねっとりとしたキス。

どんどん主人公の性欲を煽っていく」

んっ……ちゅ♡ んっふ。ちゅるっ♡

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅっ♡ ちゅぶううっ……れるっ♡ ※5

【うっとりと幸せそうに。『中に入る』 Ⅱ 『尻尾を挿入するセックスをする』】

はあ……あったかい……柔らかい……大好き……♡

ぎゅーってほんとに最高だよね。

中に入ってなくても、君をすっごく感じるの。

大好きって気持ち伝わって来て。すっごく安心するの……♡

【鼻で。とてもゆっくり、嬉しそうに主人公のにおいをかぐ】

すーっ……♡ はあああ。 すーっ……♡ はあああ……♡

すーっ……♡ はあああ……♡

幸せ……♡

【ゆっくりと満足げな吐息】

ふううう……♡ ふー……。

■ 胸に小さな突起が当たっている事に気づく。

だが、寝起きなのですぐに『これは乳首だ』という結論に至らない

【ふと気づいたように】

ん……？

■ ここで理解する

……あ。

【嬉しそうに、ちよっといたずらっぽく】

てか……くくくくっ♡」

● 【左】 0センチ へ移動

■ 主人公がパジャマの下はノーブラで、乳首を勃起させている事について、優しく、嬉しそうにからかう

「【優しく嬉しそうに、ちよっといたずらっぽく。

『ちゅっちゅ』 Ⅱ 『吸う』

ノーブラだあ。乳首硬（か）ったあ♡

パジャマ越しても勃（た）ってるのわかるうゝ♡

えっち。どすけべ。可愛い♡

……もしかして、期待してくれてるの？

この力チカチになってる子達もずっと。

ちゅっちゅされたくて待っててくれてた？♡」

〈主人公〉

「……うん。心も身体もわたし全部で、うたちちゃんの事待ってたよ……♡」

●【正面】 30センチ 上15センチ へ移動

■主人公に覆いかぶさった状態に戻って

「優しく嬉しそうに。少し照れて」

ほんと……？♡

えへ♡ 嬉しい……♡」

●【正面】 0センチ へ移動

「唇にキス」

ちゅ♡

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

嬉しそうにひそひそと、少し照れた感じで」

あたしも君のおっぱい飲みたい……♡」

SE12 うたが移動する音

【最初から最後まで流す】

【0―3秒ほど流してから次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し下へ向かう感じで離れていく】

●【正面】 0センチから 【正面】 0センチ 下30センチへ 移動しながら話す

■主人公のパジャマをたくし上げながら、胸まで移動しながら

「興奮気味のゆっくりした呼吸」

ん……。

ふー……♡

ふー♡ ♡ ふー……♡ ♡ ふー……♡ ♡ はー……♡ ♡

んっ……♡

■唇が、乳首前まで到達する

はぁぁ……♡

【優しく、ゆっくり舐め始める】

れるっ♡

れる、れる、れる、ちろっ♡

■主人公の胸の状態について述べる。

また『主人公の身体からは、うた専用の母乳が出る』という設定について述べていく

【低い声で嬉しそうに。『この子』Ⅱ『主人公の両胸』】

あゝ……。お乳ぱんぱんになってるね♡

そりや、そうだよね？

この子達も一週間、ミルク飲んでももらえなくて辛かったよね……♡
あたしが居ない間にもずっと、あたし用のミルク作っててくれたのに。

君の身体をこんなにしちやった張本人が、ずっと遠いところに居たなんてさあ。

ごめんね♡

あたし専用のお乳、ちゃんと飲むからね♡

【優しく、ゆっくり、さつきより少し激しく舐める】

んっふ……ちゅ♡ ちゅっふ……じゅるるっ♡

【低い声で嬉しそうに】

あゝ……おいし……♡

この味最っ高……♡

私用（わたしよう）の味。好き……♡

【興奮気味の呼吸く夢中で音を立てて、いやらしく舐める】

はあ、はあ、はあ。

んっ……ちゅばっ♡ ちゅばっ♡ ちゅばあっ♡

れー……じゅるるるっ♡

ちろちろ、ちろちろ、ちろちろ、ちゅくっ♡

ちゅっふ……ちゅうううっ♡

■主人公の背中が、感じて、反る

【低い声で嬉しそうに】

……あく♡ 背中 of 反り方えぐい♡ 超感じてるね♡

可愛い……♡

おっぱい、凄く喜んでくれてる……♡

■『主人公の身体からは、うた専用の母乳が出る』という設定について、さらに述べていく

【しみじみと幸せそうに】

……私、サキュバスで良かったなあ。

好きな子が自分の為だけにミルク出る身体になってくれるなんて、淫魔だけだもんね♡

■『謝礼』Ⅱ『研究所で受け取った、調査協力への謝礼』

『資料』Ⅱ『サキュバスに関する資料』

今回ね？ 謝礼の一つとして、最新の資料色々見せてもらったんだけど。

パートナーの身体に影響与えられる程の『繋がり』を持ててる淫魔って、全体の20%（にじゅっぱー）もないんだって♡

君が恥ずかしいだろうから、研究所の人には内緒にしたけど。
本当は自慢したかったの。

【控えめではあるが、ものすごくうれしそうに、自慢気に】

『私のお嫁さんは、私にいつでも体液あげられるように、お乳出る身体に変化してくれ
たんですよ』

『私はそれ位、愛されてるサキユバスなんですよ』 って……♡

【しみじみと幸せそうに】

はあ。大好き……♡ 作ってくれたミルク、ちゃんと全部飲むからね。
ちゅっちゅしてない方も。

■吸っていなかった方の乳首を、指で愛撫し始める

こうしてくりくり♡ くりくり♡ くりくり♡ ってして。

乳首マツサージしたげるからね♡

【※6まで、乳首を吸いながら話す。

吸い方は、優しくねっとりくだんだんと激しく、煽るような感じで音を立てて】
んっふ……ちゅうううっ♡ れろれろ、れろれろ、れろれろ♡

ちゅうう……ちゅ♡ じゅるる……ぶちゅっ♡

【低い声で嬉しそうに】

あーおいし。滅茶滅茶出るね♡

【不思議そうにしつつ、あまり気に留めない。今後の伏線】

何（なん）か……味も？ 前より？ 美味しい気がする♡

うん♡ 絶対美味しい♡

【最初から最後まで流す】

【SE14が終わり次第、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【興奮気味の、早めの吐息】

はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡ はあ♡

ごめんね。パジャマと布団濡らしちゃうね♡ でも我慢しないで一杯出そう？♡

おっぱい出るとこもつと見せて。あたしの物にされすぎて、あたし専用の身体にされちゃつて君、もつと見たい♡

れえる……♡ れるっ♡

れる、れる、れる。ぴちや、ぴちや、ぴちや、ぴちやっ♡

【うっとり嬉しそうに】

気持ちいいね……♡ おっぱい幸せだね♡

あたしもすっごく幸せ♡」

SE16 主人公の乳首から母乳が噴射する音4

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【小さめの音量で流す】

【▲ 1 でフェードアウトする】

■ たっふりと出る母乳について述べる。

それを自分の顔にかけられても、むしろ興奮してとても喜んでいる

「ああ……出てるう……エロ……」

はあ……♡ ふふふ♡ ミルク顔にかかっちゃうの好き♡

れるっ……美味しい……♡ 好きな子のお乳やばい……♡

▲ 1 ここでSE 16がフェードアウトする

ちゅば♡ ちゅば♡ ちゅば♡ ちゅばあ♡

SE 17 主人公がうたの頭を撫でる音

【最初から最後まで流す】

【3回繰り返して流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【小さな音量で流す】

■ 主人公が、自分の頭を撫でてくれる

【照れつつも幸せそうに】

へへ……撫で撫でてくれるの？♡

はあ……めっちゃ幸せ……♡

おっぱい大好き……ちゅぶっ♡

ちゅう……ちゅう……ちゅう……じゅるるっ♡

私の為だけに栄養作ってくれてるおっぱい、愛しすぎるよ……♡

ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

れるれる……ちゅるちゅる……ちゅ♡

もっと顔かけて？」

SE 18 主人公の乳首から母乳が噴射する音5

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【小さな音量で流す】

【▲ 2 でフェードアウトする】

「あったかくて嬉しいやつ、もっと欲しい♡

飲んでない方の乳首さん、もつとくにくにくにくにくにくにくに♡
ってほぐしたげるから。一杯びゅーしよう？♡

じゆるるるる、ちゆるう♡ ちゆ♡ ちゆ♡ ちゆ♡ ちゆばああ♡

【少し低めの声で興奮気味に、独り言っぽく、少しだけ早口で】
はあおっぱいえっちすぎだよ……ガチ興奮する……♡

大好き……ちゅっ♡ ※6

【ふと気づいたように】

……あ♡

【嬉しそうに、ちよっといったずらっぽく】
ごめん♡」

▲2 ここでSE18がフェードアウトする

SE19 うたが布団の中で尻尾を動かす音（尻尾）

【最初から最後まで流す】

【SE20と、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【小さめの音量で流す。SE20に交じって、かすかに聞こえる程度】

SE20 うたが布団の中で尻尾を動かす音（布団）

【最初から最後まで流す】

【SE20と、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【小さめの音量で流す。SE19よりは聞こえる程度】

「おっぱい可愛すぎて、おまんこ構ってあげるの忘れてたね♥

■言いながら、布団の中で尻尾を動かし始める

ふふふ。ちゃんと、尻尾でしただげるからね……♥

【興奮気味の、早めの吐息】

はあ、はあ、はあ。んっふ……。

■尻尾で、パジャマ越しに主人公の股間に触れる。

そこが、愛液が染み出すあまり、下着どころか、パジャマまで濡らしている事を指摘する

【優しく、でも興奮気味に】

はは♥ 君のお股。パジャマに染みる位濡れちゃってるよ？♥
触って欲しくて、切なくなってるんだね」

● 【左】 0センチ へ移動

■尻尾を器用に使って、パジャマと下着の中に入り込んでいく。

うたの尻尾は形や大きさを自在に変えられるので、容易に入っていく。
また、第二の舌のような突起があり、これを使って舐める事ができる

「【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。】

優しく嬉しそうに、主人公の性的興奮を本気で煽りに行く」

可愛いクリさん、尻尾で舐めてあげるからね……♡」

SE21 うたが布団の中で尻尾を動かす音2

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

【▲3 でフェードアウトする】

「【※7まで、興奮気味の、意識してゆっくり行っている呼吸を交えながら話す】

んっふ……ふーっ……♡ ふーっ……♡ ふーっ……♡

ほら……パンツの中に尻尾入れられちゃうの、好きでしょ。

勝手に入り込まれてる感じが好き？

犯されてるっぽいのがいいの？♥️ほんと変態だよ♥️

尻尾のペロのところで、一番感じる速さでなめなめしてあげるからね……♥️

■尻尾の『第二の舌』で、主人公のクリトリスを愛撫し始める

ふうう……♥️

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ……♥️

んう……君のおまんこあったかい……♥️

ぬるぬる美味すぎる……♥️

【興奮気味にうっとり】

ああ……ああ……ああ……♥️※7

▲3 ここでS E 2 1がフェードアウトする

S E 2 2 うたが尻尾で主人公の股間を舐める音

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

SE 23 うたが尻尾で主人公の股間を舐める音2

【最初から最後まで流す】

【SE 22 が終わり次第、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

SE 24 うたが尻尾で主人公の股間を舐める音3

【最初から最後まで流す】

【SE 23 が終わり次第、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

SE 25 うたが尻尾で主人公の股間を舐める音4

【最初から最後まで流す】

【SE 24 が終わり次第、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

SE 26 うたが尻尾で主人公の股間を舐める音5

【最初から最後まで流す】

【SE 25が終わり次第、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

SE 27 うたが尻尾で主人公の股間を舐める音6

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【SE 26が終わり次第、次の『うた』のセリフと同時に流す】

【大きめの音量で流す】

【ややこもって聞こえる】

▲ 4 で音量と速度が一段階大きく、早くなる】

▲ 5 で音量と速度がさらにもう一段階大きく、早くなる】

▲ 6 でフェードアウトする】

●【正面】0センチ 下30センチ へ移動

■主人公の胸のところまで頭を戻す。

興奮のあまり、乳首を吸うのをすっかり忘れていたので

「照れた様子で『ごめんごめん』と言う感じで」

へへ……嬉しくておっぱい吸うの忘れちゃいそうになる♡

■乳首を吸い、舐めるのを再開する。同時に『第二の舌』でもたっぷり舐める

【※8まで、興奮気味の早い呼吸と、会話を交えながら舐める。

次第にますます興奮して、舐め方はねちねちと丁寧でありながら、激しくなっていく。

『すっごいとろとろ』

れるっ……ひゅっごひとろとろ……♡

こんなに想っててくれるんだね♡

私も大好き。大好きだよ♡

はあ、はあ、はあ、はあ。

尻尾のベロがおまんこ夢中で舐めてる音、聞こえる？♡

【『必死』という割には、それなりに余裕と冷静さがある言い方で】

ごめんね♡ 一週間ぶりに舐めれるのが嬉しくて必死なの……♡

はあ……はあ……はあ……はあ……♡

■暗に、次のトラックでもセックスする事を匂わせる

一回イこつか……♡

■ おっぱいとクリで甘（あま）イキして、おまんこの準備しようね♡
下を見て、自分と目を合わせるように促す

【ものすごく優しく。

特に聞き手をドキツとさせる感じで】

もつとこつち見て？♡

顔見ながらガチガチの乳首こねて、おっぱい飲んで。

クリ舐めしてあげるからね……♡

【低い声で。もう『嬉しくてしょうがない』という感じで】

あは♡ あく……おまんこほんととろとろ……♡

美味しい……美味しすぎてやばいよ……♡

君の味する♡ 『大好き』って味する♡

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ♡

あく……♡ 好き……♡

はあ、はあ、はあ。はあ、はあ、はあ♡

〈主人公〉

「う……………うたちちゃん……………♡」

「【優しく続きを促す】

……………んく？♡」

〈主人公〉

「尻尾、すごいっ……………♡」

■尻尾が興奮して、とろとろに濡れている事を指摘された事に気づく

「【照れたように、恥ずかしそうに】

へへ♡ 尻尾、さっきからちよつとぬるぬる過ぎ？♡

【あまあまに認める】

そうだよ？ 君に触（さわ）れるのが嬉し過ぎて、さっきからずっと涎（よだれ）出ちやってる♡

君にキスしたさ過ぎて。

この子、先っぽからサキュバス汁（じる）止まんないの……………♡

ごめんね、擦り付けちゃう。舐めながらマーキングもしちゃう♡

【切なげに、興奮気味に】

だって大好きなんだもん。

ずっと君としたかったんだもん……♡

■尻尾で、より激しく、丹念にクリトリスを攻めていく

はあ、はあ、はあ。はあ、はあ、はあ♡

はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡

【切なげに、ちよつと情けなく、必死な感じで】

ごめんね……尻尾抑えられない……舐めたい……一杯舐めたいの……♡
私でイって。私で『イクイクイク』ってしてね……ちゅ♡」

▲4 ここで、SE27の音量と速度が一段階大きく、早くなる

■乳首を吸って、弄りながら、徹底的に攻める

ちゅっ♡ じゅるるるる♡ じゅるう♡

お乳と一緒に、ダブルで舐められて♡

ふちゅっ……。

【『キスもして』を舐めながら言う】

キスもひへ。

【『大好きえっち』でひとつの単語。意味は『ラブラブセックス』】

大好きえっちでイってね……♡

【切なげに息を吐いて、吸う。主人公の絶頂が近い】

んっ……んんんんう。

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

大好きだよ。イって♡」

▲5 ここで、SE27の音量と速度がさらにもう一段階大きく、早くなる

「『イクけ』を3回、舐めながら言う」

ちゅばあ……いゝひえっ♡ いゝひえっ♡ いゝひええ♡

【乳首を咥えたまま、苦しそうに。

青文字部分で主人公が絶頂。それがわかるように『ピーク感』を出す】

んっ……んんう♡ んゝ♡ んっ♡

ちゅ♡ れるるるるう……ちゅうう♡

んっ！♡ んんんう……！♡

ん♡ んんんんううっ……！♡」

▲6 ここで、SE27の音量がフェードアウトする

「唇を離して」

ふはあっ……♡」

〈主人公〉

「あああああっ……♡」

SE28 うたが再び覆いかぶさる音

「最初から最後まで流す」

「次の『うた』のセリフと同時に流す」

●【正面】 30センチ 上15センチ へ移動

■主人公に覆いかぶさった状態に戻って。満足げに見下ろす

「満足げな吐息。」

『苦しそうだが嬉しそう』から、だんだん落ち着いていく』

はあ、はあ、はあ、はあ。

はーっ、はーっ、はーっ、はーっ。

はああ……♡」

●【正面】0センチ へ移動

「顔のランダムな場所に、ばらばらにキス」

ちゅっ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

【『クリイキ顔』でひとつの単語。意味は『クリトリスいじりで絶頂した時の顔』】
クリイキ顔（がお）可愛い……♡

■『尻尾がますます、ガチガチに硬くなるほど興奮している』という意味
尻尾ガツチガチになっちゃった……♡

【唇にキス】

ちゅ♡

【ものすごく優しく。

特に聞き手をドキッとさせる感じで】

頑張ったね……大好きだよ♡

【唇にキス】

ちゅ♡

ここでフェードアウトして終了。